

JASMA 会報

2017年4月発行（季刊）一般社団法人日本縫製機械工業会

CONTENTS

| | |
|------------------------------------|---|
| 第37回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール表彰式開催 | 1 |
| 第37回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール受賞者交流会 | 2 |
| 第38回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール募集を開始します | 3 |
| 第49回大阪ミシンショーの JASMAブースで広報活動を実施 | 3 |
| JIAM2020実行委員会が立ち上がる | 4 |
| 第2回JASMAセミナーを開催 | 4 |
| 中小企業等経営強化法に関する証明書の様式変更について | 4 |

第37回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール表彰式開催

第37回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール表彰式が、2017年（平成29年）3月4日（土）、13時30分から日本工業倶楽部（東京都千代田区丸の内）において、受賞者、当工業会関係者等約160名の出席のもと盛大に開催されました。

最初に主催者を代表して眞壁会長から、「作品コンクールは今回で37回目を迎え、昨年を上回る応募校数632校、応募点数4,478点と盛況であった。どの作品もアイデアに溢れ、素晴らしい個性的な作品で、ミシンを使って一所懸命に作り上げた作品を見て、ものづくり、創作の楽しさを感じており、我々ミシンの設計者としても誇りに思っている。今後ものづくりを継続していただきたい。今回の最優秀作品については、来る4月27日から29日まで、東京ビッグサイトで開催される「2017日本ホビーショー」の当工業会ブースに展示し、来場者に紹介する予定である。受賞者におかれては、この経験を活かし、将来アパレル、ファッション等の世界で活躍されるようになれば嬉しく思う。」と挨拶

があり、続いてご来賓の経済産業省 製造産業局 産業機械課長 片岡 隆一殿から、「日本製のミシンは高品質で最先端の技術により、衣服だけでなく我々の生活の様々なところに世界各地で活用されている。今回の作品作りで得られた、創意工夫と鍛錬、日頃からの練習、真剣な取り組みと継続が重要である。現在の物質的豊かさだけでなく、精神的豊かさも必要で、想像力を駆使して価値あるものを作り出していくことが重要であり、新しいものづくり、新しい創造にチャレンジを続けていただきたい。」、文部科学省 初等中等教育局 児童生徒課産業教育振興室 産業教育調査官 尾白 泰次殿からは、「歴史ある本コンクールの魅力が全国に広がっていることが分かる。今回身につけた力は、様々な場面で役立つので、今後も作品作りに挑戦し、ものづくりの楽しさを味わっていただきたい。」と挨拶をいただきました。

経済産業大臣賞は、片岡課長から最優秀賞の5名に、また、文部科学大臣賞は尾白産業教育調査官から小学校、



中学校、高等学校のそれぞれ各1校にホームソーイング振興最優秀校として、賞状・副賞が授与されました。

この他優秀賞、アイデア賞については、眞壁会長から賞状・副賞の授与が行われ、特別賞の全国ミシン商工業協同組合連合会・技術賞は、同連合会の高松理事長から、またリクチュール賞は、日本ファイバーリサイクル推進協会の木田理事長から、それぞれ賞状・副賞の授与が行われました。

審査の結果については、本コンクール審査委員会の櫻井 純子審査委員長から、「今年も素晴らしい作品が多く、どの作品を入賞させるか審査する方としても非常に質の高

い作品が多かったのが苦勞した。特に実感したのが作品から感じる若いエネルギー、布と糸と針を使った芸術性の高い作品作りが印象的であった。」と感想が述べられました。

受賞者を代表して、愛知県名古屋市立桜台高等学校の中村 桃子さんから、「勉強や部活動との両立が難しく大変な時期もあったが、この3年間で学んだ技術を生かし、自信を持ってこれからの将来につなげていこうと思う。」と挨拶がありました。

最後にTOMO KOIZUMIデザイナーの小泉 智貴氏の特別講演が行われ、受賞者は熱心に聞き入っていました。



片岡 隆一 産業機械課長



尾白 泰次 産業教育調査官



櫻井 純子 審査委員長



小泉 智貴氏

第37回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール受賞者交流会

表彰式が終了した後、日本工業倶楽部内の会場において受賞者とその家族、来賓、学校関係者、会員企業及び報道機関等が参加し受賞者交流会が開催されました。

会場には、経済産業大臣賞、優秀賞、アイデア賞、特別賞などの上位入賞作品が展示され、見事な出来栄えに参加者は感心していました。

表彰式では緊張の面持ちが見られた受賞者の皆さんでしたが、交流会場では飲物と軽食が用意され、友だちや

家族、学校の先生たちと楽しく談笑するなど和やかな雰囲気の中に包まれ、作品の前で受賞者が家族や友人たちと記念写真を撮ったりするなど、明るく賑やかな一時を過ごしていました。

また、今年も会場の一角で受賞者たちのインタビューが行われ、受賞した喜びや作品作りへの思い入れ、苦勞話などが映像に記録されました。



第38回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール募集を開始します

全国の小・中・高校生を対象とした「第38回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール」の作品募集が始まりました。詳細については当工業会ホームページをご覧ください。

1. 応募部門：

(1) 小学生の部 (4・5・6年生)

部門は特に設けていません。中学生、高校生の全ての作品部門を含みます。

(2) 中学生の部

①小物・インテリア作品部門 ②衣服作品部門

③リメイク・デコ作品部門

④アニメ・ゲームキャラクターコスチューム作品部門

(3) 高校生の部

①小物・インテリア作品部門 ②衣服作品部門

③リメイク・デコ作品部門

④アニメ・ゲームキャラクターコスチューム作品部門

2. 応募作品、応募方法他については、当工業会ホームページをご覧ください。

なお、今回一部の応募は、写真による選考を行ないますのでご注意ください。

3. 締 切：平成29年10月31日 (火)

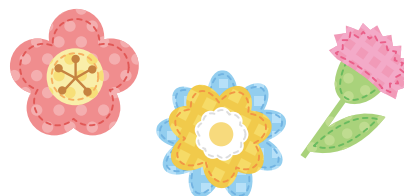
4. 応募先・お問い合わせ先：

一般社団法人日本縫製機械工業会

「第38回作品コンクール」係

TEL.03-6435-8190 FAX.03-6435-8192

Eメール：info@jasma.or.jp URL：<http://jasma.or.jp>



第49回大阪ミシンショーのJASMAブースで広報活動を実施

2017年(平成29年)3月24日(金)9時30分から開会式が行われ、25日(土)までの2日間、インテックス大阪3号館で第49回大阪ミシンショーが開催されました。

毎年関西地区で行われる同ミシンショーは、昨年はJIAM2016が行われたため2年振りの開催となり、両日とも多くの来場者が訪れました。

JASMAブースでは、パンフレット等の配付、宣材物の展示などにより、当工業会の事業活動、次回のJIAM2020について広報活動を実施しました。



眞壁 会長

また、初日の閉館後、会場内のレストランでレセプションが行われ、当工業会の眞壁会長が乾杯発声を行いました。会場内は多くの関係者が参加し賑わいを見せていました。

当工業会は内外展示会を問わず、引き続き工業会事業の広報活動を実施していきますので、ご協力をお願いいたします。



JIAM2020実行委員会が立ち上がる

2017年（平成29年）3月22日（水）、14時より東海大学校友会館（東京都千代田区）において、第1回JIAM2020実行委員会を開催しました。当日は美馬 成望実行委員長（当工業会副会長）をはじめ委員8名、ご臨席として経済産業省産業機械課の岩井田 剛係長殿、その他事務局等を含め13名が出席し、JIAM2020開催テーマ、併催展等を

中心に検討を行いました。

JIAM2020は今後本格的に動き出しますので、引き続き会員企業のご支援、ご協力をお願いいたします。



第2回JASMAセミナーを開催

2017年（平成29年）2月24日（金）、14時30分より航空会館（東京都港区）において、第2回JASMAセミナーを開催しました。当日は講師として、経済産業省 商務情報政策局 情報経済課 課長補佐 小林 正孝殿に、「AI・IoT・BD（ビッグデータ）による社会変革～経済産業省の取り組みと先進事例」をテーマにご講演をいただきました。出席者は当工業会会員企業、報道関係者、事務局等を含め15名で、AI・IoT・BD（ビッグデータ）に対する経済産業省の取り組み（IoT推進ラボ）及び事例について説明があり、出席者は興味深く聴講していました。



中小企業等経営強化法に関する証明書の様式変更について

このたび、中小企業等経営強化法に基づく税制が創設されたため、当工業会で発行している中小企業等経営強化法に関する証明書の様式が変更されました。新様式は当工業会のホームページからダウンロードできますので、ご利用下さい。また、様式の変更に伴い、これまでの固定資産税が3年間半分に減免されることに加え、法人税の特

別償却が即時償却又は7%の税額控除（資本金3千万円以下の法人は10%）が適用されます。詳細については、当工業会事務局までお問合せ下さい。

当工業会URL：<http://www.jasma.or.jp/chusho.html>

中小企業庁URL：<http://www.chusho.meti.go.jp/keiei/kyoka/2017/170315kyoka.htm>

編集後記

月日の経つのは早いもので、今年も一年の三分之一が過ぎようとしています。

春は出会いと別れの季節で、多くの方が人生の大きな節目を迎えられたことと思います。新しい環境に不安や戸惑いがあるかもしれませんが、新たな出会いを楽しみに期待を膨らませ、明るく楽しく元氣よく過ごせたらいいなと思います。

(I.T.)

JASMA 会報

Vol.14 No.1 2017年4月26日発行

一般社団法人日本縫製機械工業会
発行責任者：湯原 孝志

〒105-0004

東京都港区新橋5-25-3 第2一松ビル2階
TEL. 03-6435-8190 FAX. 03-6435-8192

URL <http://jasma.or.jp>

Eメール info@jasma.or.jp